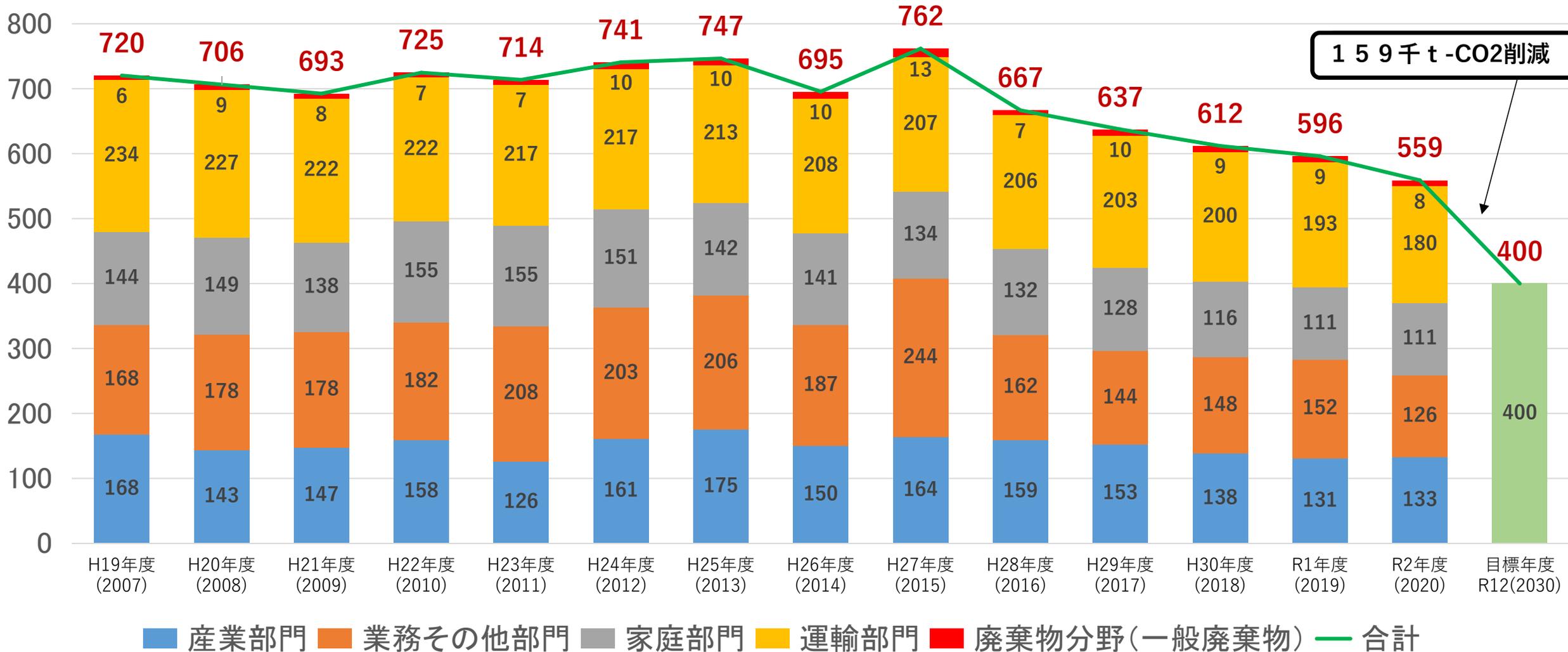


# 令和5年度 環境施策の進捗状況

# 環境省自治体排出量カルテによる高山市のCO<sub>2</sub>排出量の傾向把握と目標

令和2年度 559千 t -CO<sub>2</sub> ⇒ 目標年度（令和12年度）400千 t -CO<sub>2</sub> あと28.4%削減

部門・分野別 温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)排出量の経年変化 (単位:千t-CO<sub>2</sub>)



# 1. 自然との共生

## 1 自然公園に関すること

○内 容 自然公園の保護と利用の両立を図るための様々な取り組みを実施  
国立公園、県立自然公園等の管理  
乗鞍岳、県有登山道管理、中部北陸自然歩道管理  
乗鞍山麓五色ヶ原の森の運営・管理  
御嶽山の国定公園化の推進

○概 要 乗鞍スカイライン道路 災害復旧工事中

乗鞍山麓五色ヶ原の森

営業期間 5月20日 ~ 10月31日

4月29日 ~ 5月14日久手御越滝ショートコースのみプレオープン

入山者数 3, 815名（前年比110.5%、R4年3, 452人）

開山20周年記念事業

参加者30名（式典、いのちの森づくり植樹祭）

丹生川中学校・市民吹奏楽団による演奏会

クラフト体験

## 2 飛騨山脈ジオパーク推進事業

○内 容 一般財団法人飛騨山脈ジオパーク推進協会と連携を図りながら、地形地質、自然、観光の融合による自然体験プログラムの実施など、新たな魅力、創造、発展につながる事業により、持続可能な地域づくりを推進

### ○実 績 一般財団法人飛騨山脈ジオパーク推進協会

出前講座の開催

丹生川中、栃尾小、斐太高校他 5回 205名参加

ジオパネル展 11月11日

環境省受託事業

平湯地域子どもパークレンジャー事業 5月31日 20名参加

高山市受託事業

飛騨高山・山の自然学校 平湯地内 7月29日

中部山岳国立公園活性化推進協議会受託事業

クラフト等手作り体験教室 8月11日・8月12日・8月13日 15名参加

森林浴 9月17日・10月9日 14名参加

登山初心者講座「西穂丸山登山」 9月24日 14名参加

フォト散歩 10月21日 8名参加

満喫モニターツアー 11月9日・11月14日 10名参加

クリスマスリース作り 12月10日 6名参加

YouTube映像作成・配信 5本

ガイドマップ日本語版 10,000部増刷、英語版 5,000部作成

平湯ガイドブック 300部増刷

教育教材「ジオパークってなあに」原稿作成

### 3 白山ユネスコエコパーク推進事業

- 内 容 平成28年3月に白山ユネスコエコパークが拡張登録され、荘川町全域が対象地域になったことを契機に、市民に白山ユネスコエコパークに関する理解促進を図る
- 実 績
- ・ 白山研修バスツアー 20名参加 8月 5日
  - ・ 県天然記念物「山中峠のミズバショウ」実践学習会 9月28日  
講師：岐阜大学 安藤准教授 受講者：荘川小学校児童
  - ・ ユネスコエコパーク及び白山ユネスコエコパーク 説明授業 1月29日

### 4 岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会

- 内 容 「岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画」に基づき、地域一体となった取り組みを推進し、中部山岳国立公園及び周辺地域の活性化を目指す
- 実 績
- ・ 乗鞍岳エコツーリズム構想の推進
  - ・ 大学と連携した乗鞍岳の活性化事業
  - ・ 飛騨山脈ジオパーク構想に関する取組支援
  - ・ 乗鞍山麓五色ヶ原の森の活用促進事業
  - ・ 地元団体と連携した各種事業の実施、支援（県と共同）
  - ・ ガイド人材育成研修会 おもてなし研修 1月25日、哺乳類研修 2月19日
  - ・ 第9回夏山フェスタへの出展（名古屋市） 6月 3日～6月 4日
  - ・ 中部山岳国立公園活性化ニュースレターの発行  
7月、9月、1月 高山市内全戸への新聞折込等

## 5 特定外来生物防除事業

○内 容 特定外来生物から高山市の生態系や景観を守るため、重点地域において、オオハンゴンソウ、オオキンケイギクの駆除作業を行うとともに、市民に対する防除啓発や防除活動の参加を図る

○実 績 重点地域における特定外来生物の防除の実施

- ①市指定天然記念物「小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群」地域（清見町夏厩地内）
- ②中部山岳国立公園周辺地域（丹生川町久手地内～平湯地内、乗鞍スカイライン手前）
- ③せせらぎ溪谷県立自然公園周辺地域（清見町坂下～大原地内）

防除手法 掘り取り、刈り取り、除草剤散布

防除量 4, 230kg

特定外来生物防除講習会及び出前講座の実施

特定外来生物に関する正しい知識の普及、防除方法の周知、防除活動の拡大を目的に開催

講習会 6月3日・6月14日・6月15日・6月20日・6月21日 62名参加

出前講座 7月3日 13名参加

オオハンゴンソウ撲滅大作戦 in 平湯 7月15日 16名参加 防除量 210kg

オオハンゴンソウ撲滅大作戦 in 清見 8月6日 39名参加 防除量 550kg

特定外来生物防除奨励金の交付

特定外来生物の駆除活動を行った3団体に対し奨励金を交付

防除量 1,000kg・1,621㎡

交付額 27,300円

## 2. 地球環境の保全

### 1 薪ストーブ、ペレットストーブ及びボイラー導入に対する補助事業

○内 容 地球温暖化対策の一環として、市民、事業所による新エネルギーの利用を促進し、低炭素社会の構築と市内の地域経済の活性化に資するため、木質バイオマスを燃料とするストーブ、ボイラーの購入に要する経費の一部を助成

○対象者 市民、市内に事業所を有する事業者、町内会

○助成概要 ①ペレットストーブ等導入促進補助金  
ペレット・薪ストーブの購入に対する助成  
本体購入経費の3分の1以内の額 上限 100千円  
②ペレットボイラー等導入促進補助金  
ペレット・薪・チップボイラーの導入に対する助成  
設備費及び工事費の3分の1以内の額 上限 300千円  
ただし、出力4万kcalを超える大型ボイラー 上限5,000千円

○実 績

ペレットストーブ	14台	1,399千円	
薪ストーブ	38台	3,604千円	
ボイラー	2台	842千円	
合 計	54台	5,845千円	※1月末現在

## 2 高山市自家消費型太陽光発電設備等導入事業補助金

○内 容 脱炭素の推進と災害時の安心安全を確保するため、住宅の太陽光発電設備や蓄電池の設置に要する経費の一部を助成

○助成概要 太陽光発電設備 70千円/kWと価格（工事費込み・税抜き）（円/kW）とを比較して少ない方の額  
・上限5kW  
蓄電池 価格（工事費込み・税抜き）の1/3の額・上限5kWh

○主な要件

- ・市民が自ら居住する住宅が対象（別荘などは対象外）
- ・FIT制度やFIP制度の認定（売電）や自己託送を行わないもの
- ・発電した電気量の30%以上を太陽光発電設備を設置した住宅の敷地内で自ら消費すること

○実 績

太陽光発電設備	21件	6,617千円	
蓄電池	17件	4,339千円	
合 計	38件	10,956千円	※1月末現在

### 3 匠の家づくり支援事業

○内 容 市産材の需要拡大及び地場産業の活性化を図り、高山市の健全な森林づくりを推進する

○助成概要 建築主や建築場所により補助のタイプが異なり、以下の3種類に分かれている

タイプ	市内建築主(市内)型	市内建築主(市外)型	市外建築主型
補助対象者	建築主	建築事業者	
建築主	市民又は市内法人		市外の個人又は市外法人
建築場所	市内	市外	市内・市外
補助内容	主な構造材への市産材の使用量に応じ1 m <sup>3</sup> あたり2万円	主な構造材への市産材の使用量に応じ、1 m <sup>3</sup> あたり2万円をかけた額を上限として、建築事業者が建築主に贈呈する目的で市産家具などの木製品を購入した額	
補助限度額	30万円		
建物の種類	住宅、別荘、店舗、事務所等		

○主要要件

- ・ いずれのタイプも、主な構造材に市産材を60%以上使用することが要件
- ・ 市内に本店、支店又は営業所がある工務店が建築する建築物
- ・ 市税の滞納者でないこと

○実績 棟数 51棟 交付額 12,768千円 ※1月末現在

#### 4 「積みマイカー」間伐材収集運搬事業

○内 容 市がNPO法人 活エネルギーアカデミーと連携し、木の駅に集積された間伐材等を収集し、市内のエネルギー原料加工所へ運搬する事業 これらにより、林地残材の有効活用及び市内でのエネルギー活用を図る

○実 績 231.97t  
1,614千円  
約7千円／t ※1月末現在

#### 5 水銀灯のLED改修事業（生涯学習施設・スポーツ施設）【新規】

○内 容 市内生涯学習施設（3施設）及びスポーツ施設（9施設）における水銀灯のLED改修

○実 績 【工事完了】  
高山市民文化会館、一之宮公民館、久々野公民館、大八グラウンド、丹生川体育館、荘川体育館、飛騨高山御嶽トレーニングセンター、飛騨日和田体育館、清見B&G海洋センター体育館、国府B&G海洋センター体育館

【年度内工事完了予定】  
飛騨高山ビッグアリーナ、久々野体育館

## 6 防犯灯改修等事業補助金

○内 容 町内会が管理する防犯灯の新設（L E D化）等への補助

○助成概要 町内会が維持管理する防犯灯新設に係る経費の一部を助成

○実 績 申請件数 12件 325千円 ※1月末現在

○その他 令和4年度で改修、撤去に対する補助は廃止  
※制度創設当初の運用期間を超えていること、L E D化率が97%を超え一定の役割を終えたと判断

## 7 環境に配慮した小学校・中学校大規模改修事業

○内 容 ・ 荘川義務教育学校（校舎、屋内運動場）及び東山中学校屋内運動場の長寿命化改修にあたり、節水型トイレの設置、照明のL E D化、内装の木質化等を実施

○実 績 ・ 荘川義務教育学校（校舎、屋内運動場）令和7年3月完成見込み  
節水型トイレ導入（39台）、照明L E D化、地域産材を使用した内装の木質化  
・ 東山中屋内運動場 令和6年3月完成見込み  
節水型トイレ導入（10台）、照明L E D化、地域産材を使用した内装の木質化

## 8 自然エネルギー導入支援事業

- 内 容
- ①町内会等に対し、アドバイザーの派遣、調査設計（基本設計）に要する経費の助成、自然エネルギー活用支援資金融資などによる支援を実施する
  - ②講師を招き、自然エネルギーについて学習し、知識を得る研修機会を提供する
- 実 績
- ①アドバイザー派遣  
なし
  - ②自然エネルギーの地域利用推進研修会（脱炭素先行地域説明会と同時開催）  
開催日 令和6年1月29日  
講 師 飛騨高山電力(株) 井上博成氏  
会 場 高山市役所 地下ホール  
参加者 67名

## 9 森林整備におけるカーボンオフセット事業（都市部との連携）

- 内 容 千代田区との共同による森づくり、市内の森林整備（間伐）を行うことで、森林の二酸化炭素吸収により温暖化対策に寄与するモデルの推進
- 実 績
- ・「2050年脱炭素社会実現に向けた連携協定」（令和4年4月締結）に基づき、カーボンオフセットによる森林整備を実施
    - 間 伐 16.81ha
    - 事業費 6,402千円

### 3. 快適な生活環境の確保

#### 1 ごみ分別アプリ「さんあ〜る」配信

- 内 容 3 R（Reduce[廃棄物の発生抑制]、Reuse[再使用]、Recycle[再生利用]）のさらなる推進、適正なごみの分別収集の促進によりごみの減量化・資源化を図るスマートフォンアプリ
- 概 要 ごみの収集日や分別方法などを手軽に確認できるスマートフォンアプリの配信を令和2年8月1日より開始2月19日現在で、利用者は7, 126名

#### 2 家庭用生ごみ堆肥化装置設置補助金

- 内 容 ごみの減量化対策として、家庭の台所から出る生ごみの家庭内処理を推進するため、家庭用生ごみ堆肥化等装置の購入に対し補助金を交付
- 実 績 令和5年度見込み：35件  
令和4年度実績：36件  
※平成29年度から、過去に補助金の交付を受けた世帯でも、複数回申請することができるようになっており、制度の周知を図り、利用の促進を図る

#### 3 環境配慮事業者認定制度【新規】（詳細：資料4）

- 内 容 環境配慮行動に対する助成、環境配慮事業者認証制度の実施
- 実 績 環境配慮行動促進事業補助金創設  
7事業所を認証（8月4日 11月15日 2月9日 認証式）

## 4. 豊かな社会環境の整備

### 1 歴史遺産等保存活用事業

- 内 容 語り部養成講座の開催、文化財周知説明板の整備、天然記念物等の維持管理及び実態調査の実施
- 実 績 語り部養成講座 4回開催（ 7月 1日、10月28日、10月29日、  
11月11日、 3月 9日）

### 2 指定文化財保存修理事業

- 内 容 国指定天然記念物「臥竜のサクラ」の樹勢回復工事、市指定天然記念物「小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群」の保護対策、県指定天然記念物「六厩の夫婦スギ」及び市指定天然記念物「栗原神社のスギ」「榎谷寺の枝垂れザクラ」「錦山神社の大スギ」「葛谷のイチイ」の保護処置に対する補助
- 実 績
- ・指定文化財の保存修理  
国指定天然記念物「臥竜のサクラ」 工事費 2,750千円
  - ・指定文化財の保存修理に対する助成金の交付
    - ①県指定天然記念物「六厩の夫婦スギ」 交付額 1,501千円（予定）
    - ②市指定天然記念物「栗原神社のスギ」 交付額 796千円
    - ③市指定天然記念物「榎谷寺の枝垂れザクラ」 交付額 826千円
    - ④市指定天然記念物「錦山神社の大スギ」 交付額 135千円（予定）
    - ⑤市指定天然記念物「葛谷のイチイ」 交付額 130千円（予定）

# 5. 環境にやさしい人づくり

## 1 河川水質調査（カワゲラウォッチング）

- 目的 小学生に身近な河川の水質を知ってもらうとともに、調査の体験を通じて水質保全の重要性を認識してもらう
- 内容 宮川、苔川（調査地点5か所）の水生生物による水質調査
- 実績  
開催日 7月27日  
参加者 40名（保護者含む）  
水質判定結果 全地点で4段階中のⅠ「きれい」またはⅡ「ややきれい」

## 2 高山市快適環境づくり市民会議

- 目的 市民、事業者、団体、行政が一体となって高山市の環境保全に関する取り組みを行う組織の運営と、皆が気持ちでつながれるよう、様々な行事や活動、広報誌の作成・配布を行う
- 内容 快適環境づくり市民会議 クリーン作戦、グリーンマーケット、推進大会の開催等
- 実績
  - ・グリーンマーケット 6月24日 来場者 約450名
  - ・リユース・リサイクルフェア 9月23日 来場者 約380名
  - ・クリーン作戦 10月21日 参加者 約200名、ごみ収集量 85kg
  - ・快適環境だよりの発行 2回
  - ・推進委員会 3回開催（4月28日、8月18日、11月28日）
  - ・推進大会 2月6日 講師 NPO法人 共存の森ネットワーク理事長  
NPO樹木・環境ネットワーク協会理事長 渋沢寿一 氏（農学博士）  
参加者 約60名

### 3 自然環境学習事業

- 目的 小中学生に豊かな自然を有する森に入山し、自然を体感することを通じて、生物多様性や自然環境に対する理解を深め、郷土への愛着形成を図る。
- 内容 乗鞍山麓五色ヶ原の森や、市内にある国立・県立自然公園などにおいて、専門ガイド（森の案内人など）の説明を受けながら、生物多様性や自然環境など学校等の授業の一環として環境学習を実施
- 対象者 市内小中学生
- 実績 乗鞍山麓五色ヶ原の森 参加者：445人（10校）  
岐阜県立自然公園等 参加者：46人（2校）

### 4 飛騨高山・山の自然学校

- 目的 地元の自然について、直に触れ説明を受けることで自然保護に対する関心を呼び起こすとともに、郷土の自然とその保全に関する知識を養う
- 内容 季節に合わせたフィールドや内容で自然観察会を開催
- 参加者 市民 延べ78名参加
- 実績

① 第1回	新穂高	5月21日	10名参加
② 第2回	おおくら滝	6月17日	25名参加
③ 第3回	平湯大滝	7月29日	15名参加
④ 第4回	飛騨の里～松倉山（夏）	8月26日	13名参加
⑤ 第5回	宇津江四十八滝	10月28日	8名参加
⑥ 第6回	飛騨の里～松倉山（冬）	1月28日	7名参加